

基礎生初の哺乳類マウスを扱った実験ですが、初めての動物実験を成功させるのは至難の業で成功した班はほとんどありませんでした。また実験の最後にネズミを安楽死させるのですが、その方法がとても胸に来ます。動物実験の難しさと命の尊さを学ぶ実験。

### 5.3.3. 2 位 開花植物の空間分布様式 **基礎生 I**

様々なところでうわさに聞くかもしれませんが、いわゆる **ムラサキツメクサ**<sup>\*5</sup>。夜中まで残業しなければいけないなどの噂がありますが、しっかりと定時で帰る班もあれば、夜中 21 まで残っていた班もあったので、手際の良さが重要です。レポートもなんだかんだ大変。

### 5.3.4. 3 位 動く森 **基礎生 I**

3 位は意外にも<sup>\*6</sup>「どう森」こと動く森。実際に森の中に入るというインパクトが大きく、印象に残ったという人が多かった<sup>\*7</sup>です。よく「筑波大学は森」という話を聞きますが、あーなるほどなと感ずることができる実験です。

### 5.3.5. 4 位 カエルの解剖 **基礎生 II**

4 位はカエルの解剖。自分のてのひらよりも大きいカエルを解剖します。人生で初めて解剖をするという人も多く、インパクトは絶大です。個人的な意見ですが、解剖の授業は **生命のすごさをダイレクトに感じられる** 授業だなと思います。

## 5.4. 準必修レベルの生物学類開設授業

### 5.4.1. 有機化学 I、II

マクマリー有機化学を用いて有機化合物の命名、反応機構などについて学びます。I では、毎回の講義の初めに小テストがあり、過去問も配布されます。小テスト点が成績に反映されるため毎授業後にしっかりと復習することが重要で、期末テストも **それなりに勉強しないと落単する** ため、継続的な勉強が必要です。きつい。有機化学 II はレジュメの配布がなく、小テスト也没有。過去問も配布されず、期末一発勝負なので自分で勉強を進めないと大変なことになります。本当に大変。でもやりがいがあります。

## 5.5. さいごに

本当はもっともっと伝えたいことがあるのですが、こんなことまで書きちゃったらごちゃごちゃして読みづらくなっちゃうかなーとか考えてしまって書けませんでした。分からないことや不安なことは知ってそうな人にガンガン聞きましょう。当たり前ですが、よくわからないままなのが一番よくないです。

《文責：服部 瑛心》

5 あらゆる生物学類生にとってトラウマなワードですね

6 担当の先生に極めて失礼ですね

7 昨年度以前のデータと比較して、ダイナミックな自然の遷移を定量的に見られるという点も面白いですよ